令　和　２　年　度　着　手

県　営　土　地　改　良　事　業　計　画　書

上庄大井地区　　農業用用排水施設事業

【県営経営体育成基盤整備事業（土地総）】

（　令和７年度　第１回変更　）

福　　井　　県

令和２年度着手　農業用用排水施設事業　上庄大井地区　（県営経営体育成基盤整備事業（土地総））
変　更　理　由　書

Ⅰ．変更の内容

１．事業施工に係る地域の変更

（１）地積　　（単位：ha）

市町村名／地目		田	畑	計
（　〃　）（　〃　） 大野市　：　野中、稲郷、東山、御給、友兼、開発、森政領家、森政地頭、下郷、猪島、中据、下据、北御門、吉、五条方　地係	変更前	543.0	－	543.0
	変更後	543.0	－	543.0
	増・減	－	－	－

２．主要工事計画の変更

（１）計画受益面積　　（単位：ha）

項　目		田	畑	その他		計
農業用用排水施設	変更前	543.0	－	－		543.0
	変更後	543.0	－	－		543.0
増・減		－	－	－		－

（２）事業費　　（単位：千円）

区　分	変更前	変更後	増・減	備　考
幹線用水路工	2,268,000	3,522,000	1,254,000	
支線用水路工	29,000	166,000	137,000	
排水路工	80,000	89,000	9,000	
測量試験費	152,000	152,000	－	
用地及び補償費	20,000	20,000	－	
総事業費	2,549,000	3,949,000	1,400,000	

変更前　令和元年度価格
変更後　令和７年度価格

内　訳　　（単位：千円）

自　然　増	313,000
事業量変更	1,087,000
計	1,400,000

（３）工事予定期間

	（　〃　）		
着　工	令和	2	年度
	（　9　）		
完了予定	令和	10	年度

Ⅱ．計画変更を必要とする理由

１．主要工事計画の変更

【主たる変更理由】

・労務単価や諸経費率の改定、建設資材の高騰にかかる増額が自然増を上回る高騰となったことに伴う増
・既存水路の取壊しにかかるコンクリート数量が当初の想定より増大したことに伴う増
・用水施設の老朽化が著しく、農業用用排水路の整備延長増に伴う事業量の増

農業用用排水施設

【幹線用水路工】　（単位：千円）

事業量変更

・労務単価や諸経費率の改定、建設資材の高騰にかかる増額が自然増分を大きく上回っており、これにかかる事業費を増としたい	N=1.0式	917,000
・既存水路の取壊しにかかるコンクリート数量が当初の想定より多く、これにかかる事業費を増としたい。	N=1.0式	130,000
・詳細調査の結果、既存水路の損傷が限定的であるため、他事業で補修等を行うこととし、本事業から減としたい。	L=△ 844m	△ 106,000

【支線用水路工】

事業量変更

・支線用水路の一部について、詳細調査の結果、経年劣化による漏水が著しいため、事業量を増としたい。	L= 2,052m	146,160
・地元協議により、他事業で対応することとなったため、本事業から減としたい。	L=△ 315m	△ 9,160

【排水路工】

事業量変更

・支線排水路の一部について、詳細調査の結果、経年劣化による漏水が著しいため、事業量を増としたい。	L= 426m	58,600
・地元協議により、他事業で対応することとなったため、本事業から減としたい。	L=△ 399m	△ 49,600

【自然増】　313,000

合計　1,400,000

２．事業費変更の理由

項　　目	増　　減
自　然　増	313,000　千円
事業量変更	1,087,000　千円
計	1,400,000　千円

目　　次

第２節　営農計画及び土地利用計画 ・・・

第10節　老朽ため池改修計画 ・・・

第８節　老朽ため池改修施設 ・・・

第 1 章　目　　的

変更なし

本地区の施設は、昭和46年～62年度にかけて「県営圃場整備事業 上庄地区」「県営圃場整備事業　上庄二期地区」により整備され、造成後約40年が経過している。

本地区の用水路は、現場打ち水路及びコンクリート二次製品で整備されたが、施設の剥離やひび割れ、目地からの漏水等がみられ、安定した用水供給が困難で、水管理や維持管理に苦慮している状況である。

また、排水路は、アーム柵渠で整備されているが、柵板のズレや傾き、河床洗掘や背面土の吸出し等により、排水能力の低下を招いており、維持管理に多大な労力を費やしている状況である。

これらの状況から、担い手への農地利用集積が進み経営規模の拡大が進んでいる中、更なる農地集積、合理的な農業経営を図るうえで妨げとなっている。

よって、本事業で用排水施設を更新することにより、施設の機能回復や用水の安定供給、維持管理の省力化を図り、安定的かつ持続的な低コスト化農業の構築を目指すとともに、担い手による農地利用集積及び高収益作物の拡大に取り組む。

第 2 章　地域及び地積

第 1 節　地　　域

変更なし

（第１表）

事　　業　　名	地　　域
農業用用排水施設	大野市　：野中、稲郷、東山、御給、友兼、開発、森政領家、森政地頭、下郷、猪島、中据、下据、北御門、吉、五条方　地係

第 2 節　地　　積

変更なし

（　令和元年10月　）
令和 7年10月

（第２表）

事業名	現況地目 / 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備　考
農業用用排水施設	大野市	543.0	—	—	—	—	543.0	
計		543.0	—	—	—	—	543.0	

第 3 章　現　　況

第 1 節　気象及び海象

1．　一般気象

変更なし

（第３表-1）

観測所名	大野観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備　　考
観測期間	H18年～H27年	５月～９月	１０月～４月		
平均気温 (℃)		22.5	6.9	13.4	
降水量	平均 (mm)	1,000	1,338	2,338	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	56	111	167	
	基準年 (日)	—	—	—	
根雪期間		12 月 ～ 3 月		60 日間	
無霜期間		4 月 ～ 11 月		日間	
最多風向		WNW（５月～６月）	最大風速	m/s 13.8	

2．特殊気象

変更なし

（第３表－２）

観測所名	第１位			第２位			第３位			第４位			第５位			備考
大野観測所																
観測期間 S61年～H27年	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	164	H25.7.29	1/31	156	H17.7.4	1/22	154	H16.10.20	1/20	140	H23.7.7	1/11	137	H18.7.18	1/10	
最大時間雨量 (mm)	55	H20.8.28	1/465	45	H24.8.11	1/14	41	H23.8.25	1/7	41	H16.5.17	1/7	39	H1.9.6	1/5	
最大４時間雨量 (mm)					記録なし											
最大連続雨量 (mm)	557	H18.7.12～H18.7.29	1/500	272	H7.7.3～H7.7.12	1/11	267	H10.7.28～H10.8.7	1/11	237	H5.7.9～H5.7.15	1/7	219	H25.7.29～H25.8.2	1/5	
最大連続干天日数 (mm)	30	H6.7.19～H6.8.17	1/483	22	H22.8.15～H22.9.5	1/13	21	H8.7.24～H8.8.13	1/9	21	H14.8.16～H14.9.5	1/9	20	H24.5.19～H24.6.7	1/7	

3．海　　象

変更なし

（第３表－３）

観測所名 観測期間　年～年	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
実測値			該当事項なし					

第２節　土地状況

1．地形、土壌及び侵食の程度

変更なし

（第4表-1-1）

事業名	地目	田						畑・その他								受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000～1/100	1/100～1/20	1/20～1/11.5	1/11以上	計	3°以下	3°～8°	8°～15° 8°～10°	8°～15° 10°～15°	8°～15° 8°～15°	15°～20°	20°以上	計	最高	最低	
農業用排水施設	面積(ha)	—	543.0	—	—	—	543.0	—	—	—	—	—	—	—	—	217.0	185.0	
	比率(%)	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	面積(ha)																	
	比率(%)																	
計	面積(ha)	—	543.0	—	—	—	543.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	比率(%)	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

変更なし

（第4表-1-2）

項目 / 土壌統(区)名	土壌区分一覧表										面積(ha)			備考
	土壌断面								堆積様式	母材	事業名			
	色	腐植	レキ層	酸化沈殿物	土性 表土 一層	土性 下層土 二層	土性 下層土 三層	泥炭層黒泥層及びグライ層			農業用排水施設		計	
E-44	Y/Y	無	無	無	SL	SL	SL	有	沖積世	非固結水成岩	49.5		49.5	
G-60	YR/YR	無	無	膜状有	SiC	LiC	LiC	無	沖積世	非固結水成岩	197.9		197.9	
G-62	YR/YR	無	無	雲状有	L	SL	SL	無	沖積世	非固結水成岩	43.8		43.8	
G-64	YR/YR	無	無	雲状有	SL	L	CL	無	沖積世	非固結水成岩	8.3		8.3	
H-70	Y/N	無	無	糸根状有	LiC	CL	CL	有	洪積世	非固結火成岩	43.3		43.3	
H-72	Y/N	有	無	無	SiL	SiL	Sil	無	洪積世	非固結火成岩	46.5		46.5	
J-92	YR/YR	無	有	雲状有	SL	SL	—	無	沖積世	非固結水成岩	97.2		97.2	
K-93	YR/YR	無	有	無	—	—	—	無	沖積世	非固結水成岩	56.5		56.5	
計											543.0		543.0	

変更なし

（第4表-1-3）

事業名	区分	土壌の流亡率				年平均流亡速度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積(ha)				該当事項なし							
	比率(%)											

2．土地分類

変更なし　　（第4表-2-1）

級地別 ＼ 市町村名	農用地造成											計	備考
	一級地	二級地				三級地				四級地			
		※ (ha)	3°～8° (ha)	8°～12° (ha)	12°～15° (ha)	※ (ha)	15°～20° (ha)	20°～25° (ha)	25°～30° (ha)	※ (ha)	30°以上 (ha)	(ha)	
					該当事項なし								※は傾斜以外の要因によるもの

変更なし　　（第4表-2-2）

級地別 ＼ 市町村名	干拓					備考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
			該当事項なし			

3．土地利用の状況　　（　令和元年10月　）

変更なし　　令和 7年10月　　（第4表-3）

事業名	土地利用別 ＼ 市町村名	耕地						山林		採草放牧地	原野	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農業用用排水施設	大野市	543.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	543.0	
合計		543.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	543.0	

4．土地所有の状況　　（　令和元年10月　）

令和 7年10月　　（第4表-4）

事業名	区分 ＼ 所有別	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備考
農業用用排水施設	面積 (ha)	(〃) 543.0	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 543.0	
	受益者数 (人)	(448) 452	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(448) 452	
	筆数 (筆)	(〃) 2,323	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 2,323	
	権利関係	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	備考 (関係戸数)	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	面積 (ha)							
	受益者数 (人)							
	筆数 (筆)							
	権利関係							
	備考 (関係戸数)							
合計	面積 (ha)	(〃) 543.0	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 543.0	
	受益者数 (人)	(448) 452	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(448) 452	
	筆数 (筆)	(〃) 2,323	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) 2,323	
	権利関係	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	備考 (関係戸数)	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	

第 3 節　水利状況

1．　用水状況

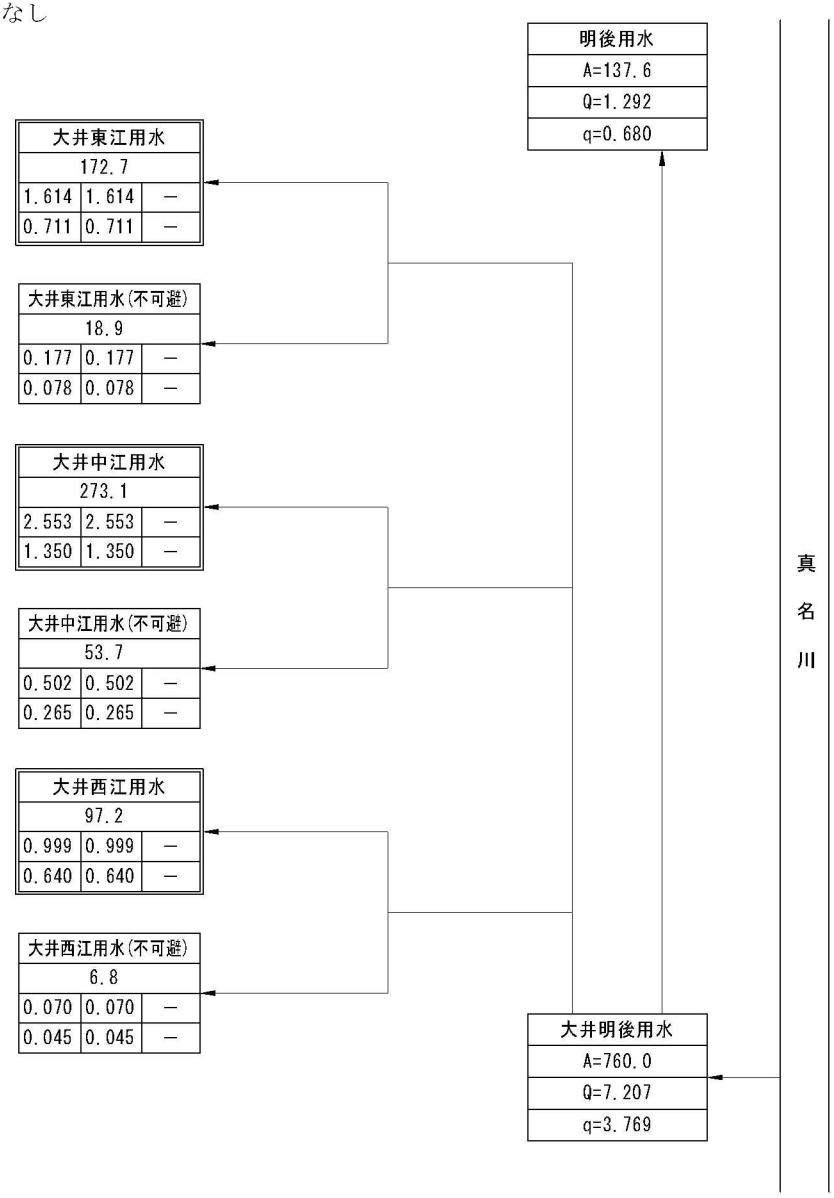
変更なし

本地区の用水は、一級河川真名川より取水し、地区内を灌漑している。

しかし、経年変化に伴いと施設の剥離やひび割れ、目地からの漏水等がみられ、安定した用水供給が困難で、水管理や維持管理に苦慮している状況である。

（1）　用水系統

変更なし



（イ）地区内		
（ロ）		
（ハ）	（ホ）	（ト）
（ニ）	（ヘ）	（ト）

（イ）地区外		
（ロ）		
（ハ）	（ホ）	（ト）
（ニ）	（ヘ）	（ト）

（イ）系統名
（ロ）受益面積(ha)
（ハ）代掻期必要水量(m^3/s)
（ニ）普通期必要水量(m^3/s)
（ホ）代掻期利用可能量(m^3/s)
（ヘ）普通期利用可能量(m^3/s)
（ト）不足水量(m^3/s)

（２） 用水施設

（ア）取水方法一覧表

変更なし

（第５表－１）

事業名	項目／施設名	かんがい面積 500ha以上		かんがい面積 50～100ha		かんがい面積 50ha未満		計		許可水利権		その他		延べ取水量	備考
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m³/s	箇所	m³/s	m³/s	
農業用排水施設	貯水池														
	井　堰	3	622.4					3	622.4	1	5.9150			5.9150	不可避受益 79.4ha含む
	自　然 取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	3	622.4					3	622.4	1	5.9150			5.9150	
合　計		3	622.4					3	622.4	1	5.9150			5.9150	

（イ）改修を要する施設一覧表

変更なし

（第５表－２）

事業名	項目／施設名	施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設	貯水池							
	井　堰							
	自　然 取入口							
	揚水機							
	用水路	幹線用水路 支線用水路	543.0 (79.4)	現場打,BF	H600～900× B700～3000 BF300～800	S46～S62	老朽化による更新	
	その他							
	計		543.0 (79.4)					
合　計			543.0 (79.4)					

※（ ）は不可避受益で外数

（3） 用水に関する被害状況

（ア） 用水不足による被害状況

変更なし （第５表－３－１）

事業名	項目／系統名	かんがい面積(ha)	現況必要水量(千㎥)	不足水量 かんがい期最大不足水量 平均(㎥/s)	不足水量 かんがい期最大不足水量 基準年(㎥/s)	不足水量 かんがい期総不足水量 平均(千㎥)	不足水量 かんがい期総不足水量 基準年(千㎥)	平均減産量 作物名	平均減産量 減産量(t)	備考
				該当事項なし						
	計									
合計										

（イ） その他の被害状況

変更なし （第５表－３－２）

事業名	時期別	かんがい面積(ha)	水温(℃) 最高	水温(℃) 最低	水質	被害量(t)	備考
			該当事項なし				

（4） ため池決壊の場合の想定被害状況

変更なし （第５表－３－３）

事業名	想定被害面積(ha) 田	想定被害面積(ha) 畑	想定被害面積(ha) その他	想定被害面積(ha) 計	想定被害額（百万円） 作物	想定被害額（百万円） 農地	想定被害額（百万円） 農業用施設	想定被害額（百万円） 公共施設	想定被害額（百万円） 家屋その他	想定被害額（百万円） 計	備考
					該当事項なし						
合計											

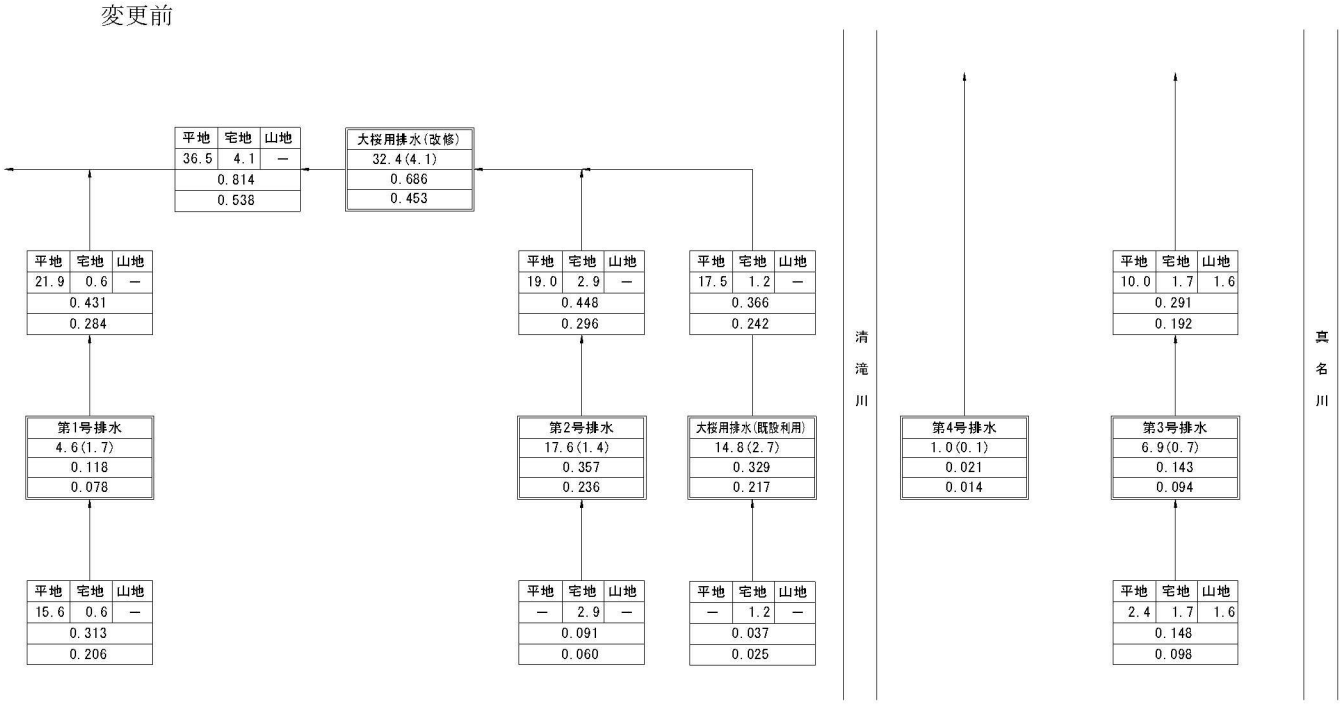
２．　排水状況

変更なし

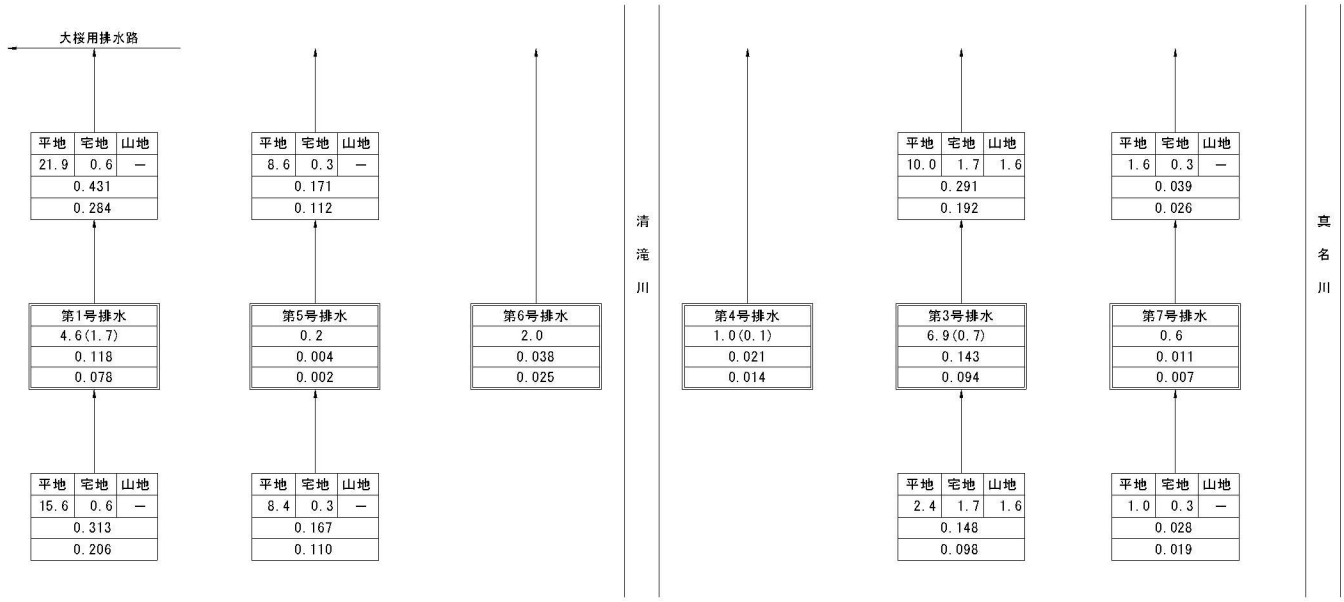
本地区の農業用排水路は、アーム柵渠で整備されたが、柵板のズレや傾き、破損、欠損等の劣化・変状がみられる。更には、背面土の吸出しに伴う法面崩壊により、通水が阻害され、排水能力が低下しており、維持管理に苦慮している状況である。

（１）　排水系統

変更前



変更後



（イ）地区内	（イ）路線名
（ロ）	（ロ）面積（ha）
（ハ）	（ハ）排水量 1/10（m3/s）
（ニ）	（ニ）排水量 1/ 2（m3/s）

（イ）地区外
（ロ）
（ハ）
（ニ）

※（　）は国有地で外数

（2）　排水施設

（ア）排水方法一覧表

（第5表-4）

事業名	項目／施設名		排水面積 500ha以上 箇所	500ha以上 ha	100～500ha 箇所	100～500ha ha	100ha未満 箇所	100ha未満 ha	計 箇所	計 ha	排水慣行 (㎥/s)	現況排水能力 (㎥/s)	備考
農業用排水施設	自然	排水路	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(5) 6	(77.5) 49.7	(5) 6	(77.5) 49.7	(1.557) 0.991	(1.557) 0.991	
		水門	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	機械	排水機	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
		水門及び排水機	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
		排水路及び排水機	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
	計		(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(5) 6	(77.5) 49.7	(5) 6	(77.5) 49.7	(1.557) 0.991	(1.557) 0.991	
合計			(〃) —	(〃) —	(〃) —	(〃) —	(5) 6	(77.5) 49.7	(5) 6	(77.5) 49.7	(1.557) 0.991	(1.557) 0.991	

（イ）改修を要する施設一覧表

（第5表-5）

事業名	項目／施設名		施設名又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は更新年	改修を必要とする理由	備考
農業用排水施設	自然	排水路	(5) 6	(44.9) 15.3	(〃) アーム柵渠	(500～600×500～1800) 500～600×500～800	(〃) S63	(〃) 老朽化による更新	
		水門	(〃) —						
	機械	排水機	(〃) —						
		水門及び排水機	(〃) —						
		排水路及び排水機	(〃) —						
	計		(5) 6	(44.9) 15.3					
合計			(5) 6	(44.9) 15.3					

（3）　排水に関する被害状況

変更なし

（第5表-6）

事業名	項目／系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況 湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千㎥)	乾湿状況(ha) 田 乾	田 湿	畑 乾	畑 湿	その他 乾	その他 湿	平均減産量 作物名	減産量 (t)	備考
			平均														
			基準年														
			平均		被害なし												
			基準年														
	計																
合計																	

３．　河川状況

（１）河川状況

変更なし

（第5表-7）

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量	既往最大洪水量 （㎥/s）	備考
		該当事項なし				

（２）洪水に関する被害状況

変更なし

（第5表-8）

項目 区分	農用地 （百万円）	農用施設 （百万円）	作物 （百万円）	公共施設 （百万円）	備考
過去の最大被害額					
平均被害額	該当事項なし				

第 4 節　道路概況

1．道路概況

変更なし

該　当　事　項　な　し

2. 主 要 道 路 一 覧 表

変更なし　　（第 6 表）

No	路線名	管理区分別	延長（m）	幅員（m） 全幅	幅員（m） 有効	構造	改修の要否	備考
	該当事項なし							

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1. 産 業 別 就 業 人 口

変更なし　　平成27年国勢調査　　（第７表－１）

項目 / 市町村名	総数（人）	農業（人）	林業（人）	漁業（人）	鉱業（人）	建設業（人）	製造業（人）	電気ガス熱供給水道業（人）	運輸通信業（人）	卸売小売業飲食店（人）	金融保険業（人）	不動産業（人）	サービス業（人）	公務（人）	その他（人）	備考
大野市	17,733	1,462	93	2	6	2,161	3,399	152	669	2,359	333	118	6,319	603	57	国勢調査
計	17,733	1,462	93	2	6	2,161	3,399	152	669	2,359	333	118	6,319	603	57	
比率（%）	100.0	8.2	0.5	0.0	0.0	12.2	19.2	0.9	3.8	13.3	1.9	0.7	35.6	3.4	0.3	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

変更なし　　農林業センサス 平成27年度　　（第７表－２）

項目 / 市町村名	農家総戸数（戸）	経営耕地広狭別農家数（戸） 例外規定の適用を受けるもの	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0	3.0～5.0	5.0～10.0	10.0～20.0	20.0 ha以上	自給的農家	一戸当たり平均農用地面積(ha) 田	畑	樹園地	小計	草地	計	耕地の分散状況 一戸当団地数	団地当面積(ha)	専兼業別農家数（戸） 専業	兼業 第一種	兼業 第二種	備考
大野市	1,658	11	123	331	345	217	174	46	23	10	14	364	2.48	0.37	－	2.85	－	2.85	－	－	255	99	1,304	
計	1,658	11	123	331	345	217	174	46	23	10	14	364	2.48	0.37	－	2.85	－	2.85	－	－	255	99	1,304	
比率（%）	100.0	0.7	7.4	20.0	20.8	13.1	10.5	2.8	1.4	0.6	0.8	22.1	87.0	13.0	－	100.0	－	100.0			15.4	6.0	78.6	

3. 動 力 農 機 具 及 び 主 要 家 畜 頭 数

変更なし　　農林業センサス 平成27年度　　（第７表－３）

項目 / 市町村名	動力農機具 トラクター 数量（台）	トラクター 戸数（戸）	田植機 数量（台）	田植機 戸数（戸）	動力防除機 数量（台）	動力防除機 戸数（戸）	コンバイン 数量（台）	コンバイン 戸数（戸）	主要家畜 乳用牛 数量（頭）	乳用牛 戸数（戸）	肉用牛 数量（頭）	肉用牛 戸数（戸）	採卵鶏 数量（百羽）	採卵鶏 戸数（戸）	豚 数量（頭）	豚 戸数（戸）
大野市	1,530	1,251	997	937	929	838			273	6	X	3	13,700	3	－	－
計	1,530	1,251	997	937	929	838	0	0	273	6	X	3	13,700	3	－	－
100戸当数量(台，頭)	122		106		111											
利用戸数割合(%)																

4．主要作物作付け状況

変更なし　　（平成２７年度）　　（第７表－４）

市町村名			大野市						計	平均	作付率	備考
総耕地面積(ha)			4,210						4,210			
総本地面積(ha)			3,910						3,910			
区分 / 作物名			作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積当たり収量 (kg/10a)	(%)	
田	表作	水稲	2,690	526					2,690	526	68.8	福井農林水産
田	裏作											統計年報
田	小計		2,690						2,690			
畑	春夏作	大麦	617	162					617	162	22.9	
畑	春夏作											
畑	秋冬作	大豆	656	54					656	54	24.4	
畑	秋冬作	そば							0	0	0.0	
畑	小計		1,273						1,273			
樹園地												
樹園地												
樹園地												
計			3,963						3,963			
市町村別延べ作付率(%)			94.1						94.1			

5．農業の動向

大野市　変更なし　　（平成２７年度）　　（第７表－５）

項目 / 区分	農家	B	A	土地	B	A	主要作物	B	A	大家畜	B	A	動力農機具	B	A	地域指定等	備考
変化の状況	総農家数	81	67	耕地	99	99	水稲	94	88	乳牛	63	59	田植機	67	52	大野市 農業振興指定 S46. 3.9	A：平成27年
	専業農家	71	121	田	96	95	麦類	145	192	肉用牛	57	－	動力耕耘機	－	－		B：平成22年
(C年を100とする指数)	第一種兼業農家数	198	97	畑	105	105	豆類	101	114	豚	－	－	トラクター	81	68		C：平成17年
	第二種兼業農家数	76	61	樹園地	－	－				採卵鶏	82	28	バインダ	－	－		
	農業従事者数	80	57	草地	－	－							コンバイン	67	52		
変化の理由	経済構造の変動と農業構造の変化			農業事情の変化			新生産調整推進対策による転作対応			経営規模の縮小			機械の大型化 省力化				

第６節　地域環境の概況　　変更なし

本地区には、一級河川真名川と清滝川が流れており、豊かな水資源を有している地域である。
自然の豊かさの指標となる生物が生息しているなど、自然環境に恵まれた地域である。

第４章 一般計画

第１節　事業計画の要旨

１．要　　旨　　変更なし

本事業により、農業用用排水路を更新し、用水の安定供給や水管理・維持管理の軽減を図り、生産基盤の維持・保全に努め、担い手による農地利用集積及び流動化を促進する。

２．事業別面積

（第 8 表）

事業名	農業用用排水施設												計	備考
土地利用区分 / 事業目的	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	(ha)	
(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(排水との重複：44.9ha)
用水改良	543.0	—	—	—	—	543.0	—	—	—	—	—	—	543.0	排水との重複：15.3ha
(〃)	(44.9)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(44.9)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(〃)	(44.9)	(用水との重複：44.9ha)
排水改良	15.3	—	—	—	—	15.3	—	—	—	—	—	—	15.3	用水との重複：44.9ha
計	543.0	—	—	—	—	543.0	—	—	—	—	—	—	543.0	

第２節　営農計画及び土地利用計画

１．営農計画の概要

変更なし

水稲＋大麦・大豆・そばを中心に、さといも、ばれいしょ、ねぎ、なすの作付拡大を図ることで、安定した農業経営の確立を図る。

２．土地利用区分　変更なし

（第 9 表－１）

事業名	区分 \ 土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
農業用用排水施設	現況	543.0	—	—	—	—	—	543.0	—	—	—	543.0	
	計画	543.0	—	—	—	—	—	543.0	—	—	—	543.0	
	現況												
	計画												
計	現況	543.0	—	—	—	—	—	543.0	—	—	—	543.0	
	計画	543.0	—	—	—	—	—	543.0	—	—	—	543.0	

3. 作付方式　　変更なし

（第 9 表－2）

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目	2年目	3年目	備考
農業用排水施設用	現況	水田	輪換田	（水稲）		（水稲）	
			畑利用	（大麦） （そば） （大豆） （さといも） （ばれいしょ） （ねぎ） （なす）	（大麦） （そば） （大豆） （さといも） （ばれいしょ） （ねぎ） （なす）	（さといも） （ばれいしょ） （ねぎ） （なす）	
	計画	水田	輪換田	（水稲）		（水稲）	
			畑利用	（大麦） （そば） （大豆） （さといも） （ばれいしょ） （ねぎ） （なす）	（大麦） （そば） （大豆） （さといも） （ばれいしょ） （ねぎ） （なす）	（さといも） （ばれいしょ） （ねぎ） （なす）	

4. 生産計画

（第 9 表－3）

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作付面積 (ha) 現況	作付面積 (ha) 計画	作付面積 (ha) 増減	作付率 (%) 現況	作付率 (%) 計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 現況	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 計画	単位面積当たり収穫量(kg/10a) 増減	生産量 (t) 現況	生産量 (t) 計画	生産量 (t) 増減	同左生産量増減の内訳 (t) 面積増減	同左生産量増減の内訳 (t) 単位面積当収量増加	備考
農業用排水施設用	水田	表作	水稲	(〃) 348.7	(〃) 348.7	(〃) —	(〃) 66.9	(〃) 66.9	(531) 525	(531) 525	(—) —	(1,851.6) 1,830.7	(1,851.6) 1,830.7	(—) —	(〃) —	(〃) —	
		裏作															
	畑利用	表作	大麦	(〃) 116.5	(〃) 116.5	(〃) —	(〃) 22.3	(〃) 22.3	(244) 254	(244) 254	(—) —	(284.3) 295.9	(284.3) 295.9	(—) —	(〃) —	(〃) —	
			さといも	(〃) 33.0	(〃) 33.0	(〃) —	(〃) 6.3	(〃) 6.3	(1,489) 1,352	(1,489) 1,352	(—) —	(491.4) 446.2	(491.4) 446.2	(—) —	(〃) —	(〃) —	
			ばれいしょ	(〃) 4.0	(〃) 4.0	(〃) —	(〃) 0.8	(〃) 0.8	(〃) 1,202	(〃) 1,202	(〃) —	(〃) 48.1	(〃) 48.1	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
			ねぎ	(〃) 8.6	(〃) 8.6	(〃) —	(〃) 1.6	(〃) 1.6	(1,745) 1,482	(1,745) 1,482	(—) —	(150.1) 127.5	(150.1) 127.5	(—) —	(〃) —	(〃) —	
			なす	(〃) 0.2	(〃) 0.2	(〃) —	(〃) 0.0	(〃) 0.0	(1,160) 1,289	(1,160) 1,289	(—) —	(2.3) 2.6	(2.3) 2.6	(—) —	(〃) —	(〃) —	
		裏作	そば	(〃) 94.0	(〃) 94.0	(〃) —	(〃) 18.0	(〃) 18.0	(〃) 41	(〃) 41	(〃) —	(〃) 38.5	(〃) 38.5	(〃) —	(〃) —	(〃) —	
			大豆	(〃) 48.8	(〃) 48.8	(〃) —	(〃) 9.4	(〃) 9.4	(108) 124	(108) 124	(—) —	(52.7) 60.5	(52.7) 60.5	(—) —	(〃) —	(〃) —	
合計				(〃) 653.8	(〃) 653.8	(〃) —	(〃) 125.3	(〃) 125.3									

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

5．　労働改善計画

（第９表－４）

事業名	項目／土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a） 区分	現況	計画	増減	備考
農業用排水施設用	田	水稲	（〃）348.7	人力	（17.3）18.8	（17.3）18.8	（－）－	
				機械	（3.6）4.7	（3.6）4.7	（－）－	
	畑利用	大麦	（〃）116.5	人力	（5.3）5.8	（5.3）5.8	（－）－	
				機械	（2.4）2.8	（2.4）2.8	（－）－	
		さといも	（〃）33.0	人力	（90.1）90.8	（90.1）90.8	（－）－	
				機械	（3.3）3.6	（3.3）3.6	（－）－	
		ばれいしょ	（〃）4.0	人力	（90.1）90.8	（90.1）90.8	（－）－	
				機械	（3.3）3.6	（3.3）3.6	（－）－	
		ねぎ	（〃）8.6	人力	（92.4）92.6	（92.4）92.6	（－）－	
				機械	（4.0）4.3	（4.0）4.3	（－）－	
		なす	（〃）0.2	人力	（328.6）328.8	（328.6）328.8	（－）－	
				機械	（4.8）5.1	（4.8）5.1	（－）－	
		そば	（〃）94.0	人力	（4.4）4.6	（4.4）4.6	（－）－	
				機械	（2.1）2.2	（2.1）2.2	（－）－	
		大豆	（〃）48.8	人力	（8.9）9.0	（8.9）9.0	（－）－	
				機械	（2.8）2.9	（2.8）2.9	（－）－	
合計			（〃）653.8					

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

6．　級地別土地利用区分

変更なし

（第９表－５）

区分／土地利用区分	級地名	農用地造成 (ha) 一級地	二級地	三級地	四級地	計	干拓 (ha) 一級地	二級地	三級地	四級地	計	合計
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)				該当事項なし							
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑園)											
その他												
計												

7．　土地配分計画

変更なし

（第９表－６）

項目／区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha) 田	輪換耕地	畑 普通畑	牧草畑	樹園地			計	備考
増反		（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	
		該当事項なし								
入植		（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）	

第３節 用水計画

１． 計画基準年　　変更なし

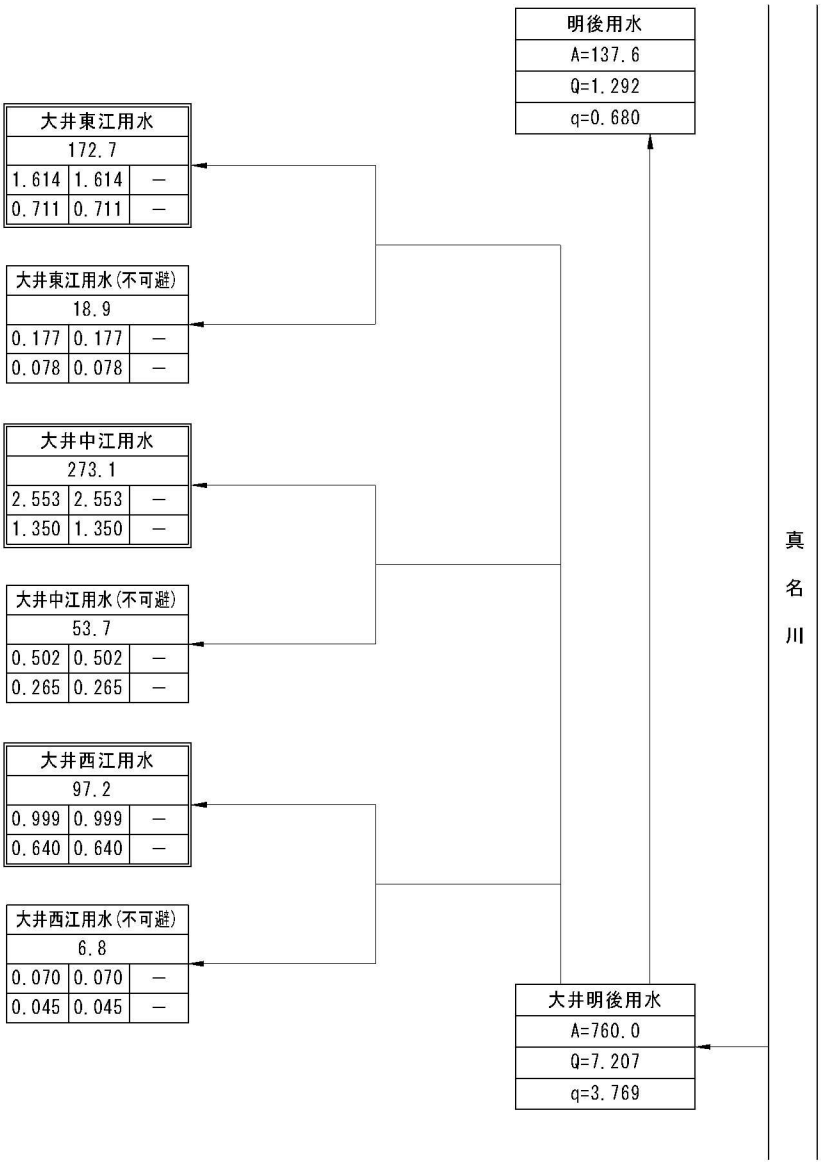
日 減 水 深 ・・・・・・・・ 代掻水深 209㎜、管理減水深 40㎜

全 用 水 量 ・・・・・・・・ Q=5.915㎥/s、 q =3.089㎥/s

２． 計画かんがい方式　　変更なし

開水路によるかんがい
かんがい期間　・・・・・・・・ 4月26日～9月15日

３． 計画用水系統　　変更なし



（イ）地区内		
（ロ）		
（ハ）	（ホ）	（ト）
（ニ）	（ヘ）	（ト）

（イ）地区外		
（ロ）		
（ハ）	（ホ）	（ト）
（ニ）	（ヘ）	（ト）

（イ）系統名
（ロ）受益面積(ha)
（ハ）代掻期必要水量(m^3/s)
（ニ）普通期必要水量(m^3/s)
（ホ）代掻期利用可能量(m^3/s)
（ヘ）普通期利用可能量(m^3/s)
（ト）不足水量(m^3/s)

4. 計画用水量

(1) かんがい用水　　変更なし

系統名	種別	面積(ha) 事業名 農業用用排水施設		計	水田かんがい 普通期 計画平均単位用水量(mm/日)	代掻期 計画代掻単位用水量(mm/日)	面積(ha)	水田畑利用 一日当たり計画平均灌水深(mm/日)	平均間断日数(日)	面積(ha)	畑地かんがい 一日当たり計画平均かん水深(mm/日)	平均間断日数(日)	面積(ha)
大井西江用水	農業用水	104.0		104.0	48	221	69.4	4	3	34.6	−	−	−
大井中江用水	農業用水	326.8		326.8	37	204	218.0	4	3	108.8	−	−	−
大井東江用水	農業用水	191.6		191.6	31	210	127.8	4	3	63.8	−	−	−
計（全　体）		622.4		622.4			415.2			207.2			

（第１０表－１－１）

その他 計画平均単位用水量(mm/日)	その他 面積(ha)	消費水量(m³/s)	損失率(%)	粗用水量 平均(m³/s)	粗用水量 最大(m³/s)	備考
−	−	0.506	15	0.595	1.069	
−	−	1.203	15	1.415	3.055	
−	−	0.706	15	0.830	1.791	
		2.415		2.840	5.915	

(2)　営農飲雑用水

変更なし

（第１０表－１－２）

区分	利用目的	対象面積(ha) 事業名			日当給水量 単位給水量(㎥/日)	日当給水量 最大給水量(㎥/日)	補給回数(回)	関係戸数(戸)	備考
				計					
		該当事項なし							

5. 水源計画

(1) 水利用計画

変更なし

（第１０表－２）

区分＼項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量 水源名	現況利用可能水量 取水地点利用可能量	現況利用可能水量 圃場利用可能量	不足水量 純不足水量	不足水量 全不足水量	水源依存量 水源名	水源依存量 水量	水源工種	備考
	a (千㎥)	b (千㎥)	c=a-b (千㎥)	d=c/(1-a) (千㎥)		e (千㎥)	f (千㎥)	g=c-f (千㎥)	h=d-e (千㎥)		(千㎥)		損失率 α
	該当事項なし												
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

変更なし

（第１０表－３）

項目＼貯水池名	流域面積(㎢) 直接	流域面積(㎢) 間接	かんがい面積(ha) 事業名		計	純貯水量(千㎥)	利用貯水量(千㎥)	利用回数(回)	最大取水量(㎥/s)	備考
	該当事項なし									

(イ) 井堰及び自然取入口

変更なし

（第１０表－４）

項目＼取水施設名	河川名	流域面積(㎢)	かんがい面積(ha) 事業名		計	取水量(㎥/s) 最大	取水量(㎥/s) 平均	渇水量(㎥/s)	備考
	該当事項なし								
計									

(ウ) 揚水機

変更なし

（第１０表－５）

項目＼名称	水源名	かんがい面積(ha) 事業名		計	所要水量(㎥/s) 最大	所要水量(㎥/s) 平均	揚水機 実揚程(m)	揚水機 揚水量(㎥/s)	揚水機 台数(台)	揚水機 全揚水量(㎥/s)	備考
	該当事項なし										

(エ) 用水路

（第１０表－６）

項目＼名称	かんがい面積(ha) 農業用用排水施設	かんがい面積(ha) 事業名	かんがい面積(ha) 計	最大通水量(㎥/s)	延長(km)	構造	備考
(〃) 幹線用水路	(〃) 543.0		(〃) 543.0	(〃) 5.915	(20.054) 19.210	(YF-H600～900×B800～2900 YF-H500～1000×B800～3000)	
() 支線用水路	(〃) 12.6		(〃) 12.6	(〃) 0.323	(0.993) 2.730	(JBF-300～600 JBF-300～700)	
計	(〃) 543.0		(〃) 543.0	(〃) 5.915	(21.047) 21.940		

※支線用水路は、幹線用水路の内数

(オ) その他の水源施設

変更なし

該当事項なし

（3）水質水温

変更なし

（第１０表－７）

時間別	かんがい面積	水温		水質	被害量	備考
		最高	最低			
		該当事項なし				

第４節　排水計画

１ 計画基準雨量

変更なし

岩井法による確率日雨量

観測所：福井地方気象台　大野観測所

観測期間：平成１年～平成３０年

１／１０：　147.4 mm/day

１／　２：　97.5 mm/day

2. 計画排水方式

変更なし

自然排水方式

単位排水量（４時間雨量４時間排水）

１／１０

平地　：　1.880　㎥/s/k㎡

宅地・山地　：　3.130　㎥/s/k㎡

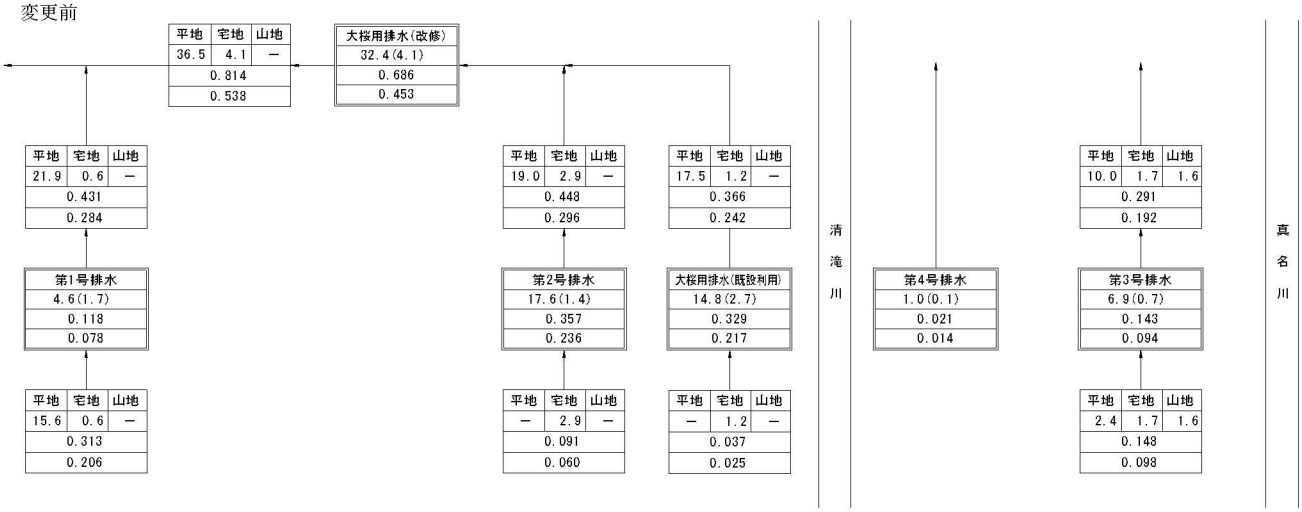
１／２

平地　：　1.240　㎥/s/k㎡

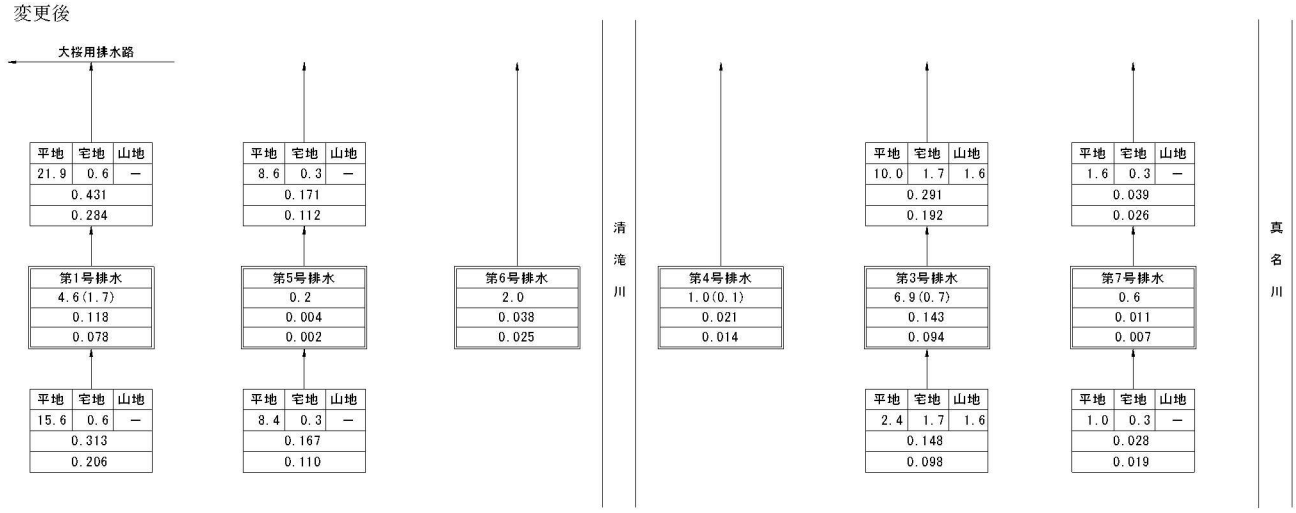
宅地・山地　：　2.070　㎥/s/k㎡

3. 計画排水系統

変更前



変更後



（イ）地区内	（イ）路線名
（ロ）	（ロ）面積（ha）
（ハ）	（ハ）排水量 1/10（m3/s）
（ニ）	（ニ）排水量 1/ 2（m3/s）
（イ）地区外	
（ロ）	
（ハ）	
（ニ）	

※（　）は国有地で外数

4．計画排水量

（第１１表－１）

項目 / 排水系統名	受益面積（ha） 事業名 用排水		計	流域面積（ha） 平地	宅地	山地	基準雨量（mm）	降雨による直接単位流出量（㎥/s/k㎡） 平地	宅地	山地	基底流出量（㎥/s/k㎡） 平地	山地	全排水量（㎥/s） 平地	宅地	山地	単位排水量（㎥/s/ha） 平地	宅地	山地
（〃） 第１号排水路	（〃） 4.6		（〃） 4.6	（〃） 21.9	（〃） 0.6	（〃） —	（〃） 147.4	（〃） 1.88	（〃） 3.13	（〃） 3.13	（〃） —	（〃） —	（〃） 0.412	（〃） 0.019	（〃） —	（〃） 0.019	（〃） 0.031	（〃） 0.031
（〃） 第２号排水路	（17.6） —		（17.6） —	（19.0） —	（2.9） —	（－） —	（147.4） —	（1.88） —	（3.13） —	（3.13） —	（〃） —	（〃） —	（0.357） —	（0.091） —	（〃） —	（0.019） —	（0.031） —	（0.031） —
（〃） 大桜用排水路	（32.4） —		（32.4） —	（36.5） —	（4.1） —	（－） —	（147.4） —	（1.88） —	（3.13） —	（3.13） —	（〃） —	（〃） —	（0.686） —	（0.128） —	（〃） —	（0.019） —	（0.031） —	（0.031） —
（〃） 第３号排水路	（〃） 6.9		（〃） 6.9	（〃） 10.0	（〃） 1.7	（〃） 1.6	（〃） 147.4	（〃） 1.88	（〃） 3.13	（〃） 3.13	（〃） —	（〃） —	（〃） 0.188	（〃） 0.053	（〃） 0.050	（〃） 0.019	（〃） 0.031	（〃） 0.031
（〃） 第４号排水路	（〃） 1.0		（〃） 1.0	（〃） 1.1	（〃） —	（〃） —	（〃） 147.4	（〃） 1.88	（〃） 3.13	（〃） 3.13	（〃） —	（〃） —	（〃） 0.021	（〃） —	（〃） —	（〃） 0.019	（〃） 0.031	（〃） 0.031
（—） 第５号排水路	（—） 0.2		（—） 0.2	（－） 8.6	（－） 0.3	（〃） —	（－） 147.4	（－） 1.88	（－） 3.13	（－） 3.13	（〃） —	（〃） —	（—） 0.162	（—） 0.009	（〃） —	（－） 0.019	（－） 0.031	（－） 0.031
（—） 第６号排水路	（—） 2.0		（—） 2.0	（〃） —	（〃） —	（〃） —	（－） 147.4	（－） 1.88	（－） 3.13	（－） 3.13	（〃） —	（〃） —	（—） 0.038	（〃） —	（〃） —	（－） 0.019	（－） 0.031	（－） 0.031
（—） 第７号排水路	（—） 0.6		（—） 0.6	（－） 1.6	（－） 0.3	（〃） —	（－） 147.4	（－） 1.88	（－） 3.13	（－） 3.13	（〃） —	（〃） —	（—） 0.030	（—） 0.009	（〃） —	（－） 0.019	（－） 0.031	（－） 0.031
合計	（44.9） 15.3		（44.9） 15.3	（69.5） 43.2	（6.4） 2.9	（1.6） 1.6							（1.307） 0.851	（0.200） 0.090	（0.050） 0.050			

※第2号排水は、大桜用排水と重複のため、合計欄の数値は、第2号排水以外の計である。

5．排水対策

(1)　排　水　水　門

変更なし

（第１１表－２）

項目 / 名称	流域面積（k㎡）	受益面積（ha） 事業名		計	計画 排水量（㎥/s）	地区内たん水深（m）	排水本川 名称	計画洪水量（㎥/s）	計画洪水位（m）	備考
					該当事項		なし			

(2)　排　水　機

変更なし

（第１１表－３）

項目 / 名称	流域面積（k㎡）	受益面積（ha） 事業名		計	排水量（㎥/s）	地区内たん水深（m）	排水本川 実揚程（m）	排水量（㎥/s）	台数（台）	全排水量（㎥/s）	備考
					該当事項		なし				

(3)　排　水　路

（第１１表－４）

項目 / 名称	流域面積（k㎡）	受益面積（ha） 事業名 用排水		計	計画排水量（㎥/s）	延長（km）	構造	排水本川 名称	計画洪水量（㎥/s）	計画洪水位（m）	備考
（〃） 支線排水路	（0.775） 0.477	（44.9） 15.3		（44.9） 15.3	（1.557） 0.991	（1.00） 1.03	（HF-500～600×500～1800） HF-500～600×500～800	（〃） —	（〃） —	（〃） —	
計	（0.775） 0.477	（44.9） 15.3		（44.9） 15.3	（1.557） 0.991	（1.00） 1.03					

(4)　そ　の　他

変更なし

該　当　事　項　な　し

6．たん水検討　　変更なし

該　当　事　項　な　し

第５節　道路計画

１.道路及び索道

（１）　道　路　　変更なし

（第１２表－１）

項　目 路線名	幅　（有効）×　延　長 (m)　　(km)	構　造	既設道路との関係	備　　考
	該　当　事　項　な　し			
計				

（２）　索　道　　変更なし

（第１２表－２）

項　目 路線名	能　力（t/hr）	延　長　(m)	接続道路名	備　　考
	該　当　事　項　な　し			

２.路線配置図

変更なし

該　当　事　項　な　し

第６節　農用地造成計画

１.農用地造成計画

（１）　農用地造成計画

変更なし　（第１３表－１）

項目 / 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
	該当事項なし				

（２）　末端道水路配置図

変更なし　該当事項なし

２.土壌改良

変更なし　（第１３表－２）

項目 / 区分	面積 (ha)	土壌統(区)名	ＰＨ		置換酸度 (Y1)	りん酸吸収係数 (mg/100g)	ｈａ当たり所要量			備考
			H_2O	KCℓ			石灰 (t)	りん酸質資材(t)	有機質資材(t)	
			該当事項なし							

第７節　洪水調節計画

１.計画基準雨量

変更なし

該当事項なし

２.計画洪水量及び調節量

変更なし　（第１４表－１）

地点	流域面積 (km²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m³/s)	安全洪水量 (m³/s)	必要調節量 (m³/s)	ピーク時調節量 (m³/s)	ピーク時調節後流量 (m³/s)	調節後最大流量 (m³/s)	調節前後の最大流量の差 (m³/s)	最大調節量 (m³/s)
			該当事項なし							

３.貯　水　池

変更なし　（第１４表－２）

項目 / 貯水池名	流域面積(km²)		計画洪水量 (m³/s)	貯水量(千m³)			計画調節流量(m³/s)	可能調節流量(m³/s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
			該当事項なし						

４.洪水調節検討

（１）河川改修計画との関係

変更なし

該　当　事　項　な　し

（２）洪水調節が下流に及ぼす影響

変更なし

該　当　事　項　な　し

（３）計画基準雨量以外の降雨についての検討

変更なし

該　当　事　項　な　し

５.管理計画

（１）管理機構

変更なし

該　当　事　項　な　し

（２）ダム管理操作上の各種基準

変更なし

該　当　事　項　な　し

（３）洪水調節要領

変更なし

該　当　事　項　な　し

第８節　干拓計画

変更なし

（第１５表）

項　目 名　称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備　　考
		該　当　事　項　な　し				

第９節　農用地整備計画

１．　区画整理

（１）　区画の形状

変更なし

（第１６表－１）

長　辺×　短　辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備　考
	該　当　事　項　な　し				
計					

（２）　表土扱い

変更なし

（第１６表－２）

面　積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土　量 (㎥)	備　考
	該　当　事　項　な　し			

（３）　末端道水路配置図

変更なし

該　当　事　項　な　し

2．暗渠排水

(1) 暗渠排水

変更なし

（第１６表－３－１）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	基準雨量（mm/日）	単位排水量（㎥/s/ha）	計画後の地下水位（m）	集水渠出口以下の排水方法	備考
				該当事項なし					
計									

(2) 心土破砕

（第１６表－３－２）

変更なし

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	土壌硬度	備考
				該当事項なし		
計						

3．客　　土

変更なし

（第１６表－４）

項目 / 区分	面積（ha） 事業名		計	土壌統（区）名	減水深（mm/日） 現況平均	減水深（mm/日） 計画平均	作土の厚さ（cm） 現況平均	作土の厚さ（cm） 計画平均	10a当たり客土量（㎥）	土壌の性質 受益地	土壌の性質 採土地（客土材料）	備考
				該当事項なし								
計												

4．農地保全

（１）　防災林

変更なし

（第１６表－５－１）

項目 / 区分	最大風速（m/s）	幅（m）	間隔（m）	備考
	該当事項なし			

（２）　排水工

変更なし

（第１６表－５－２）

項目 / 名称	基準雨量（mm/日）	土性	流出率	排水量 単位排水量（㎥/s/ha）	排水量 全排水量（㎥/s）	備考
		該当事項なし				

（３）　侵食（崩壊）防止工

変更なし

（第１６表－５－３）

項目 / 施設名	位置	支配面積（ha）	機能	備考
	該当事項なし			

第１０節 老朽ため池改修計画

１.洪水吐改修計画

（１） 計画基準雨量　変更なし

該　当　事　項　な　し

（２） 計画洪水量　　変更なし

該　当　事　項　な　し

２.堤体補強計画　変更なし

該　当　事　項　な　し

３.取水施設改修計画　　変更なし

該　当　事　項　な　し

第５章　主要工事計画

第１節 用水施設

１．貯水池

変更なし　　（第１７表－１）

名称				位置						備　考
堤　体	型式	流域面積　(km²)		堤高 (m)	堤長 (m)	提体積 (千m³)	基礎地盤 地質	貯水量（千m³）		
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
	該　当　事　項　な　し									
洪水吐	型　式		洪水量 (m³/s)	取水施設	型式	取水量 (m³/s)	放流施設	型式	放流量 (m³/s)	

２．頭首工

変更なし　　（第１７表－２）

名　称				位　置				備　考
型　式	提　高 (m)	提　長 (m)			取水位 (m)	取水量 (m³/s)	付帯施設	
		固定部	可動部	計				
	該　当　事　項　な　し							

３．揚水機

変更なし　　（第１７表－３）

項目 / 名称	位　置	揚水量 (m³/s)	揚　程（m）		揚　水　機			原　動　機			備　考
			全揚程	実揚程	型　式	口径 (mm)	台数 (台)	型　式	動力 (kW)	台数 (台)	
		該　当　事　項　な　し									

４．用水路

（第１７表－４）

項目 / 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m³/s)	延　長 (km)			構　造	勾配	主要構造物	備　考
	事　業　名				開きょ	トンネル その他	計				
	用排水		計								
(　〃　) 幹線用水路	(　〃　) 543.0		(　〃　) 543.0	(　〃　) 5.915	(　20.05　) 19.21	(　〃　) －	(　20.05　) 19.21	(　YF-H600～800×B800～2800 YF-H500～1000×B800～3000　)	(　〃　) 1/400～1/600		
(　〃　) 支線用水路	(　〃　) 12.6		(　〃　) 12.6	(　〃　) 0.323	(　0.99　) 2.73	(　〃　) －	(　0.99　) 2.73	(　JBF-300～600　) JBF-300～700	(　〃　) 1/400～1/2500		
計	(　〃　) 543.0		(　〃　) 543.0	(　〃　) 5.915	(　21.05　) 21.94	(　〃　) －	(　21.05　) 21.94				

※支線用水路は、幹線用水路の内数

５．その他かんがい施設

変更なし

該　当　事　項　な　し

第２節 排水施設

１．排水水門

変更なし

（第１８表－１）

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (㎥/s)	備考
		該当事項なし					
計							

２．排　水　機

変更なし

（第１８表－２）

項目 名称	位置	排水量 (㎥/s)	揚程　(m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
			該当事項なし								
計											

３．排　水　路

（第１８表－３）

項目 水路名	受益面積　(ha) 事業名 用排水		計	排水量 (㎥/s)	延長　(km) 開きょ	トンネル その他	計	構造	勾配	主要構造物	備考
(　〃　) 支線排水路	(　44.9) 15.3		(　44.9) 15.3	(　1.557) 0.991	(1.00) 1.03	(　〃　) —	(1.00) 1.03	(HF-H500～800×B500～1800 HF-H500～800×B500～800)	(　〃　) 1/200～1/3000		
計	(　44.9) 15.3		(　44.9) 15.3	(　1.557) 0.991	(1.00) 1.03	(　〃　) —	(1.00) 1.03				

４．その他排水施設

変更なし

該当事項なし

第３節　道路及び索道

１．道　路

（１）道路の総括表

変更なし　（第１９表-１）

項目／区分	路線名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構造	付帯構造物 名称	付帯構造物 構造	付帯構造物 数量 (箇所)	最急勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小曲線半径 (m)	備考
		該当事項なし								
計										

（２）道路主要構造物

変更なし　（第１９表-２）

項目／路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考
		該当事項なし			

２．索　道

変更なし　（第１９表-３）

項目／名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機 形式	原動機 動力	備考
		該当事項なし				

第４節　農用地造成

１．農用地造成

（１）抜　根

変更なし　（第２０表-１）

項目／区分	樹種	樹径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面積 (ha)	工法	備考
		該当事項なし				
計						

（２）除　礫

変更なし　（第２０表-２）

項目／区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (㎥/ha)	面積 (ha)	工法	備考
		該当事項なし			
計					

（３） 開墾作業

変更なし （第２０表－３）

項目 区分		面積 (ha)	工法	備考
地目	造成工法			
		該当事項なし		
計				

（４） 地目変換

変更なし （第２０表－４）

項目 区分	面積 (ha)	工法	備考
	該当事項なし		
計			

（５） 末端用水路等

変更なし （第２０表－５）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
	該当事項なし			

（６） 末端排水路等

変更なし （第２０表－６）

項目 区分	数量	規模	構造	備考
	該当事項なし			

２． 土壌改良

変更なし （第２０表－７）

項目 区分	面積 (ha)	石灰量 （ｔ）	りん酸質資材量 （ｔ）	有機質資材量 （ｔ）	備考
	該当事項なし				
計					

第５節　洪水調節施設

１．貯水池

変更なし

該　当　事　項　な　し

２．頭首工及び導水路

（１）頭首工

変更なし

（第２１表－２）

名称			位置					備　考
			堤　長　(m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	
型式	集水面積 (km²)	堤 高 (m)	固定部	可動部	計			
該　当　事　項　な　し								

（２）導水路

変更なし

（第２１表－３）

項目 / 水路名	通水量 (m³/s)	延　長　(m)			構　造	勾　配	備　考
		トンネル	その他	計			
該　当　事　項　な　し							

第６節　干拓施設

１．堤　防

変更なし

（第２２表－１）

項目 / 名称	型　式	延長 (m)	構造					原地盤標高（m）		備　考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	最　低	
該　当　事　項　な　し										

２．潮止め

変更なし

（第２２表－２）

項目 / 名称	工　法	幅　員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備　考
該　当　事　項　な　し							

３．付属施設

変更なし

該　当　事　項　な　し

4．埋　　立

変更なし

（第２２表－３）

項目 区分	面　　積 (ha)	埋　立　標　高 (m)	埋　立　土　量 (㎥)	施　工　方　法	備　　考
		該　　当　　事　　項　　な　　し			

第７節　農用地整備施設

1．区画整理

（1）区画整理　変更なし

（第２３表－１）

工　区　名	面　積 (ha)	整　　地　　工		表　土　扱　い		備　考
		標 準 区 画	土　量(㎥)	面　積(ha)	土　量(㎥)	
		該　　当　　事　　項　　な　　し				
計						

（2）末端用水路等

変更なし

（第２３表－２）

項目 区分	数　　量	規　　模	構　　造	備　考
		該　　当　　事　　項　　な　　し		
計				

（3）末端排水路等

変更なし

（第２３表－３）

項 目 区 分	数　　量	規　　模	構　　造	備　考
		該　　当　　事　　項　　な　　し		
計				

2．暗渠排水

（1）暗渠排水

変更なし

（第２３表－４－１）

項目 区分	面　　積　(ha)			集　水　渠				吸　水　渠						集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備　考
	事　業　名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (mm)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
					該　　当　　事　　項　　な　　し												
計																	

（２）心土破砕

変更なし

（第２３表－４－２）

区分＼項目	対象上層の厚さ（cm）	ha当たり標準除礫量（㎥/ha）	面積（ha）	工法	備考
	該当事項なし				
計					

３．客土

変更なし

（第２３表－５）

区分＼項目	面積（ha） 事業名		計	客入土量（㎥）	土取場土量（㎥）	運搬距離（km）	運搬方法	備考
	該当事項なし							
計								

４．除礫

変更なし

（第２３表－６）

区分＼項目	対象上層の厚さ（cm）	ha当たり標準除礫量（㎥/ha）	面積（ha）	工法	備考
	該当事項なし				
計					

５．農地保全

（１）防風林

変更なし

（第２３表－７）

区分＼項目	幅（m）	延長（m）	面積（ha）	樹種	植栽本数（本）	備考
	該当事項なし					
計						

（２）排水路

変更なし

（第２３表－８）

区分＼項目	延長（m）	流量（㎥/s）	構造	備考
	該当事項なし			
計				

（３）侵食防止工

変更なし

（第２３表－９）

名称＼項目	構造	数量	備考
	該当事項なし		
計			

第８節　老朽ため池改修施設

１．　貯水池

変更なし　（第２４表）

名　称					位　置			
堤体	型　式	流　域 (km²)	堤　高 (ｍ)	堤　長 (ｍ)	堤体積 (㎥)	堤頂幅 (ｍ)	貯水量 (千㎥)	備　考
				該当事項なし				
洪水吐	型　式	排水量 (㎥/s)	規　模 (ｍ)	備　考	取水設備	型　式	取水量 (㎥/s)	備　考

２．　堤体補強施設

（１）のり面保護施設　変更なし

該当事項なし

（２）漏水防止工　変更なし

該当事項なし

第６章　附帯工事計画　変更なし

該当事項なし

第７章　工事の着手及び完了の予定時期

換地区	着　手	完了予定	備　考
全区	（　〃　） 令和　2　年度	（　9　） 令和　10　年度	

第８章　環境との調和への配慮

変更なし

本事業を施工するにあたり、排気ガス対策型建設機械の使用に努め、大気環境へ配慮する。また、ドライ施工を原則とし、天候に応じた工程により、水質の保全や水環境及び生態系等に十分な配慮を行う。施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第９章　換　地　計　画　の　概　要

第１節　　換地計画を作成する上での基本的な考え方

変更なし

該　当　事　項　な　し

第２節　　換地区の設定

１．　換地区の名称、所在、面積

変更なし

（第２５表－１）

換　地　区　名	換　地　区　の　所　在	面　積（ha）
	該　当　事　項　な　し	

２．　換地区を設定する理由

変更なし

該　当　事　項　な　し

第３節　　換地計画樹立の基本方針

１．　従前の土地の地積の基準

変更なし

（第２５表－２）

換　地　区　名	地　積　の　基　準
	該　当　事　項　な　し

2. 用途別予定地積

変更なし

換地区名	用途（取得予定者）／前・後	非農用地区域外に換地する土地												
		田	畑	山林・原野	その他	通常事業施行地域に含める土地（令第１条の９（　　）書き）			計	本事業によって生ずる土地改良施設用地			創設農用地	合計
						土地改良施設	その他	小計		改良区	その他	計		
					該当事項なし									
合計														

（単位：ha）　（第２５表－３）

非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一般国公有地	総合計
特定用途用地			異種目換地	創設非農用地					合計	国	県	市町村他	合計		
宅地	その他	計		施設用地 農業経営合理化	必要な施設用地 生活上・経営上	施設用地 公用・公共用	宅地等	計							
						該当事項なし									

3．農用地集団化の方針

変更なし

（第２５表－４）

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	１戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該当事項なし		

4．非農用地の換地方法

変更なし

（第２５表－５）

換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積（㎡）	換地の手法	換地取得予定者	その他
		該当事項なし				

第４節　土地の評価及び清算の方法

1．評価の方法　　変更なし

該当事項なし

2．清算の方法　　変更なし

該当事項なし

第５節　換地計画樹立の年度計画　　変更なし

（第２５表－６）

区分／換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
		該当事項なし		

第６節　換地処分の時期に関する特則　変更なし

該　当　事　項　な　し

（第２６表）

区分 ＼ 事業名	農業用用排水施設 （単位：千円）	備考
用水路工	（ 2,297,000 ） 3,688,000	（ 元 ） 令和 7 年度単価
排水路工	（ 80,000 ） 89,000	
小計	（ 2,377,000 ） 3,777,000	
測量試験費	（ 152,000 ） 152,000	
用地補償費	（ 20,000 ） 20,000	
小計	（ 172,000 ） 172,000	
計	（ 2,549,000 ） 3,949,000	
地方事務費	（ 〃 ） —	
総事業費	（ 2,549,000 ） 3,949,000	
関連事業（参考）		

第１１章 効　　用

（第２７表）

事業名	区分 ＼ 項目		年増加見込効果額（千円）	年増加見込所得額（千円）	備考
農業用排水施設	食料の安定供給の確保に関する効果		（ 310,469 ） 369,913	（ 349,801 ） 388,276	
		作物生産効果	（ 206,299 ） 268,492	（ 230,154 ） 267,954	
		営農経費節減効果	（ 104,370 ） 101,503	（ 117,066 ） 117,190	
		維持管理費節減効果	（ △ 200 ） △ 82	（ 2,581 ） 3,132	
	農村の持続的発展に関する効果		（ 〃 ） —	（ 〃 ） —	
	農村の振興に関する効果		（ 〃 ） —	（ 〃 ） —	
	その他の効果		（ 28,028 ） 29,349	（ 〃 ） —	
		国産農産物安定供給効果	（ 28,028 ） 29,349	（ 〃 ） —	
	計		（ 338,497 ） 399,262	（ 349,801 ） 388,276	（ 元 ） 令和 7 年度単価

（参考）

（ 5,608,243 ）
総 費 用（現在価値化）： 9,010,029 千円
（ 6,732,470 ）
総便益額（現在価値化）： 10,219,144 千円
（ 1.20 ）
総 費 用 総 便 益 比 ： 1.13 ≧ 1.00
（ 5.9 ）
総 所 得 償 還 率 ： 9.2 % ≦ 20 %
（ 〃 ）
増 加 所 得 償 還 率 ： － % ≦ 40 %

第１２章 関連する事業

変更なし

（第 2 8 表）

区分	事業名	事業主体	受益面積（ha）	備考
		該当事項なし		

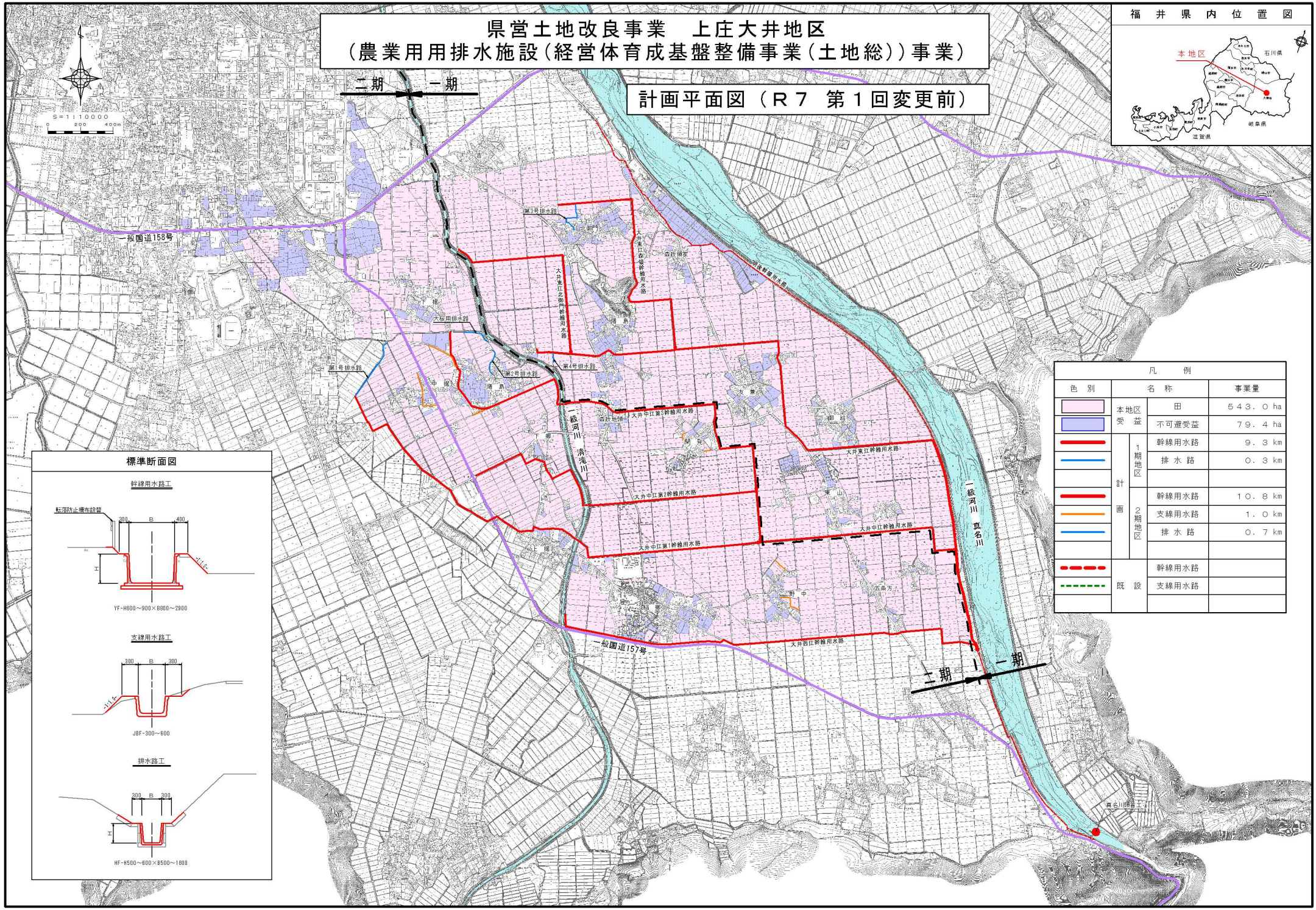
第１３章 現況・計画図面

別途添付

１． 計 画 平 面 図

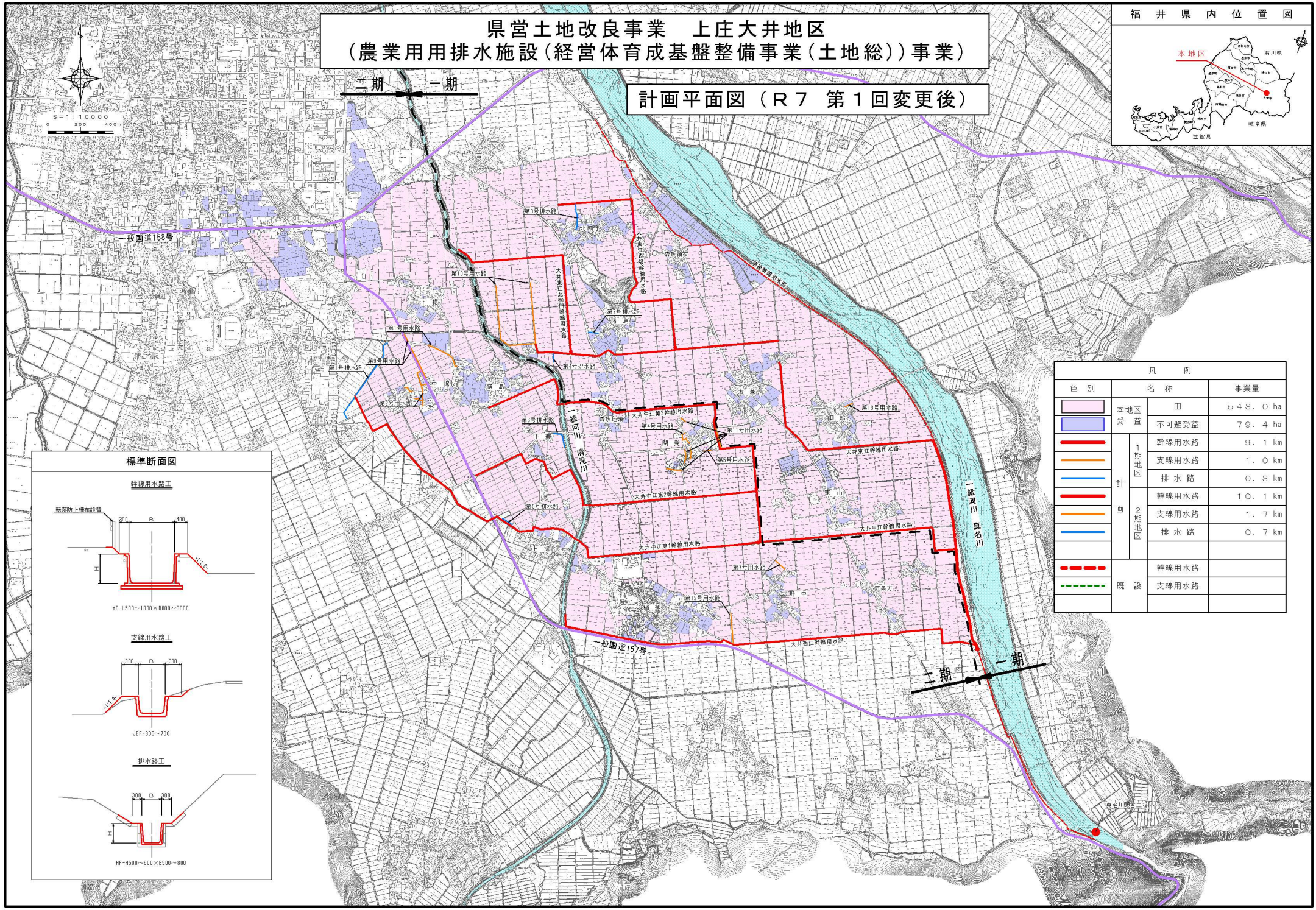
県営土地改良事業　上庄大井地区
（農業用用排水施設（経営体育成基盤整備事業（土地総））事業）

計画平面図（Ｒ７　第１回変更前）



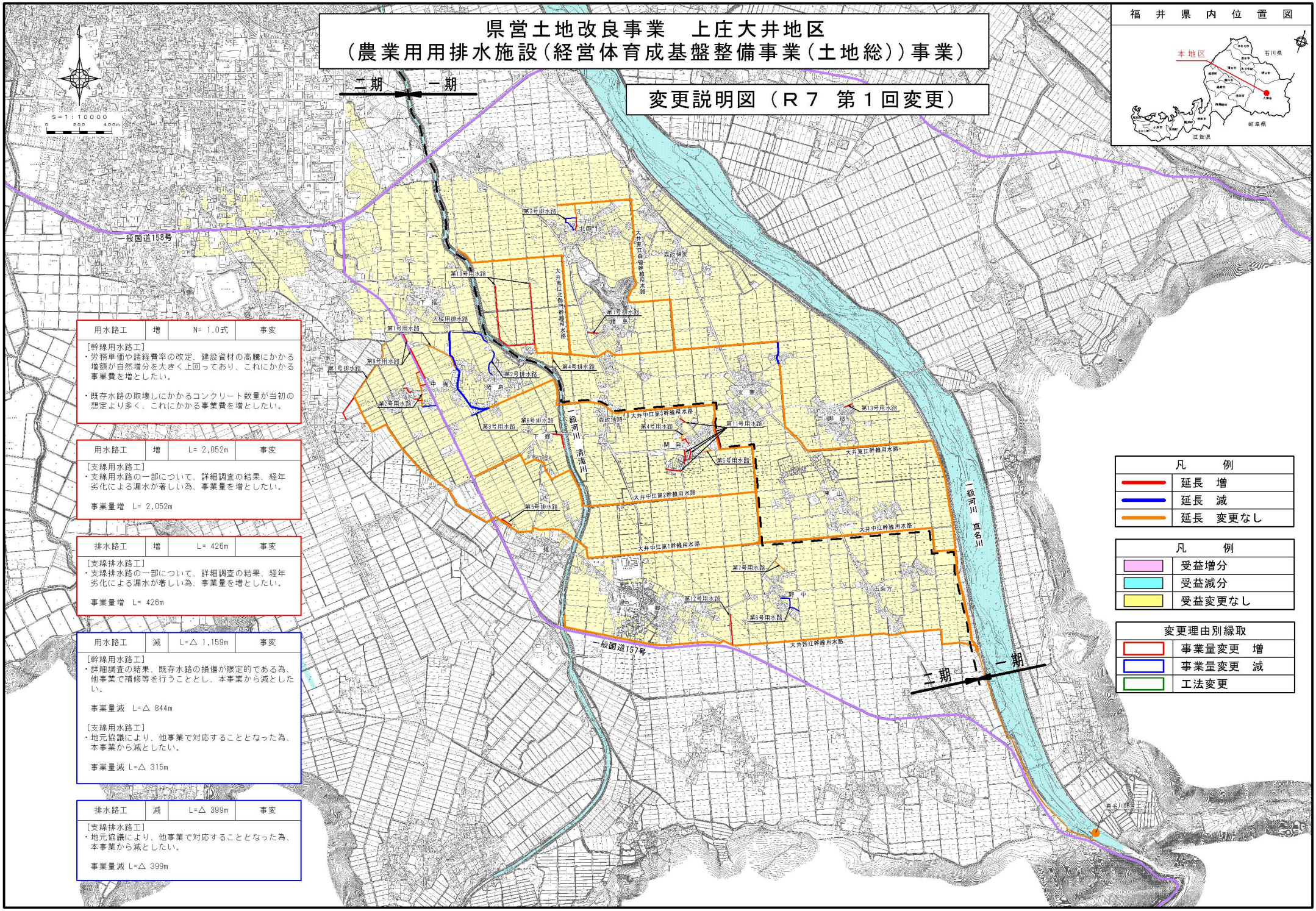
県営土地改良事業　上庄大井地区
（農業用用排水施設（経営体育成基盤整備事業（土地総））事業）

計画平面図（Ｒ７　第１回変更後）



県営土地改良事業　上庄大井地区
（農業用用排水施設（経営体育成基盤整備事業（土地総））事業）

変更説明図（Ｒ７　第１回変更）



用水路工	増	N= 1.0式	事変

［幹線用水路工］
・労務単価や諸経費率の改定、建設資材の高騰にかかる増額が自然増分を大きく上回っており、これにかかる事業費を増とした。

・既存水路の取壊しにかかるコンクリート数量が当初の想定より多く、これにかかる事業費を増とした。

用水路工	増	L= 2,052m	事変

［支線用水路工］
・支線用水路の一部について、詳細調査の結果、経年劣化による漏水が著しい為、事業量を増とした。

事業量増　L= 2,052m

排水路工	増	L= 426m	事変

［支線排水路工］
・支線排水路の一部について、詳細調査の結果、経年劣化による漏水が著しい為、事業量を増とした。

事業量増　L= 426m

用水路工	減	L=△ 1,159m	事変

［幹線用水路工］
・詳細調査の結果、既存水路の損傷が限定的である為、他事業で補修等を行うこととし、本事業から減とした。

事業量減　L=△ 844m

［支線用水路工］
・地元協議により、他事業で対応することとなった為、本事業から減とした。

事業量減 L=△ 315m

排水路工	減	L=△ 399m	事変

［支線排水路工］
・地元協議により、他事業で対応することとなった為、本事業から減とした。

事業量減 L=△ 399m

凡　例	
	延長　増
	延長　減
	延長　変更なし

凡　例	
	受益増分
	受益減分
	受益変更なし

変更理由別縁取	
	事業量変更　増
	事業量変更　減
	工法変更